

車両搭載機器向け ペネトレーション テスト

車両搭載機器のセキュリティー を向上させる

概要

日本では2024年1月から新車へのUN-R 155の適用が始まっています。UN-R 155を満たすCSMSを構築するために必要なエビデンスや分析手法は、ISO/SAE 21434で定義されています。また、ペネトレーションテストは、ISO/SAE 21434において重要なセキュリティー評価手法として位置づけられています。Fime Japanは、セキュリティー・ビジネス・パートナーと協力し、インフォテインメント・システム、ECU、リモート・キー・システム、ダッシュ・カメラなどの車載機器に対するペネトレーション・テストを提供しています。また、OTA (Over The Air) アップデートで使用されるサーバー側システムのファジングを含むセキュリティーテストは、UN-R155および156に従って提供することができます。さらに、グリッチ、サイドチャネル解析、PCB改ざん、脅威モデリングなど、ソフトウェア・セキュリティー・メカニズムをバイパスするハードウェア攻撃もオンデマンドで提供可能です。

Fime Japanをご利用いただく理由

Fimeは長年にわたり、パートナーと協力して決済分野のセキュリティー評価を行ってきました。大切な人命や財産を守る観点から、自動車のセキュリティー評価も厳格に実施しています。Fimeのセキュリティーパートナーは、ペネトレーションテストにおける世界最高水準の技術力の証とされるCREST認証を取得しており、高品質なテストサービスの提供をお約束します。

Fimeはお客様のプロジェクトライフサイクルのどの段階でもお手伝いいたします。

定義

設計

製造

テスト



自動車産業向けペネトレーションテスト

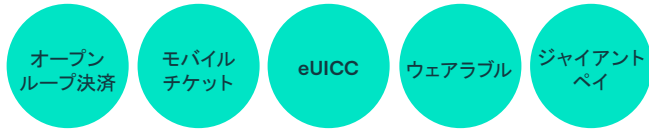
対応プロトコル

- Ethernet
- CAN
- CAN FD
- Keyword Protocol (KWP)
- MOST (Media Oriented System Transport)
- FlexRay

対応デバッグポート

- JTAG
- SWD
- UART
- ICSP (In Circuit Serial Programming) etc.

未来をサポート



 No1



モバイル決済
テストラボ No1



CPVとM-TIP
プロバイダ No1

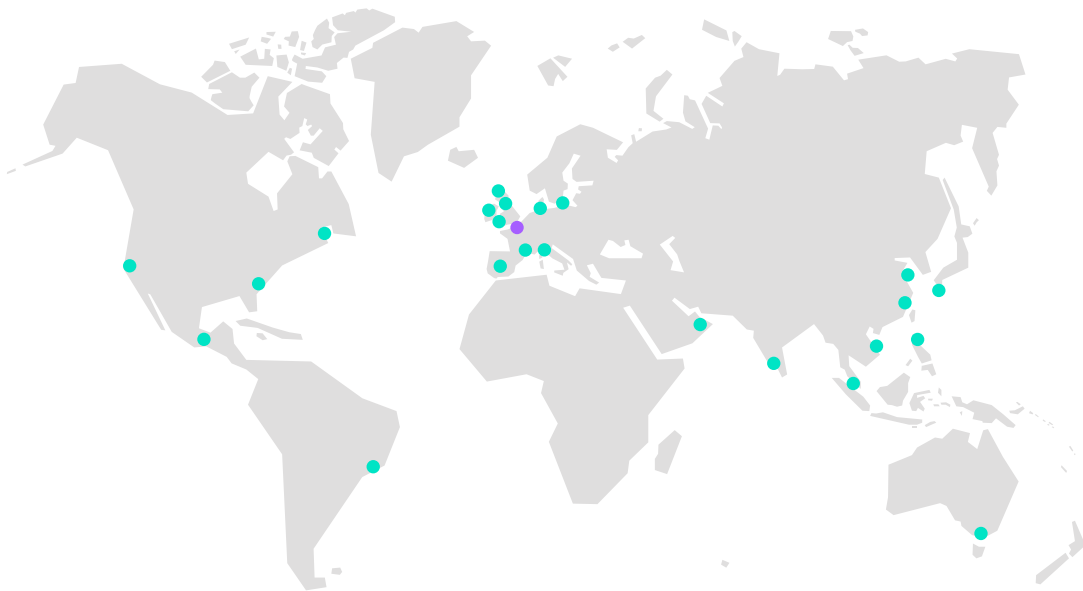


UnionPay (銀聯)
で認定された
最初の国際ラボ



世界最初の
Android POSター
ミナルの開発と立
ち上げに協力

世界中にFimeの専門家が存在



U.S. Payment Forumメンバー



中国におけるトップ5の決済ターミナルベンダーやトップ5の携帯電話ベンダーと取引



EMV*の始まりから共に活動し、非常に多くのEMV移行に貢献

15以上の決済ブランド向け
カードとモバイルの移行をサポート

*EMVは米国およびその他の国における登録商標であり、その他の国における未登録商標です。EMV商標はEMVCo, LLCが所有しています。



お問い合わせ

Fimeがどのように貴社のお役に立つか詳しくは以下までご連絡ください

fime.com
salesjapan@fime.com

F-S-PENETRATIONTEST-AA
Penetration test for the automotive industry.

© Fime 2024